



節孝坊

(阜曲)

曲阜北門を出て、至聖林神路に入らんところ所に在り、節孝は貞節孝順なる婦を云ふ多く夫死し貞節を完ふしたる婦人に勅旨を以て坊を立て門閭に旌表す。この坊は陶氏と稱する婦人の節孝坊、坊に題して『節並松筠』とあり、康熙帝の御筆である。陶氏は大興の處士承德の女、蚤く寡となり、子を撫じ、祀を承け、其子卒し又孫を撫じ母となり父となり師となり、よく鞠育の任を果し年八十にして卒す云ふ。

(一九二九年撮影)(印畫の複製を禁ず)